

令和2年度 福島市在宅医療・介護連携支援センター事業計画書

事業項目	計 画	事業内容
(ア) 医療・介護資源の把握	ホームページ作成 ・情報収集（医療・介護）と提供 ・各団体の研修案内ページを作成	・情報を随時更新。専門職が求めているタイムリーで信頼性のある情報発信を行う ・掲載している事業所案内の内容充実に向けて、掲載書式の点検見直しを実施する ・他機関の研修の掲載を増やすために、関係機関への周知を行う
	専門職・関係者、市民への周知	・情報収集、課題共有等を目的に、病院MSWと包括支援センター、在宅医療・認知症専門医等への訪問実施（6月以降予定） ・もの忘れ相談医マップ更新の協力 ・県北地域在宅緩和ケア社会資源情報誌の作成協力 ・医師会主催会議研修の協力をして連携を図る ・機会あるごとに専門職へ案内チラシ配布を継続
(イ) 課題抽出と対応検討	運営協議会意見交換	・運営協議会での活動報告を行い、代表委員からの意見聴取を行う。（2回/年）
	事業活動について報告	・活動報告・年次計画をホームページに掲載する。（ア）の関係機関訪問時に報告を行う。
	福島市主催会議に参加	・長寿福祉課（地域包括ケア推進室）、保健所総務課（地域医療対策室）との定例会議の実施（1回/月） ・地域包括ケアシステム推進会議 ・オレンジプラン進行管理会議 ・地域ケア会議への出席
	関係団体会議出席	・医療と介護のネットワーク事務局会議（随時）、定例会（3回/年） ・認知症疾患支援センターと認知症初期集中支援チームの合同会議（4回/年） ・県在宅歯科医療連携室運営会議・県がん対策推進会議
(ウ) 切れ目ない在宅医療	退院調整ルール評価	・退院調整ルールアンケート福島市分（包括支援センター・居宅支援事業所）の送付・集計の実施（調査期間 5月～7月） ・県北福祉事務所、MSW、包括、居宅との合同研修会（11月）
	各団体連携研修	・各包括圏域にて実施されているケアマネージャーとの学習会等への参加（随時）
	MSWとの地域医療会議	・MSWと地域支援についての情報収集と研修企画及び市CWとの研修会（2回/年）
	(新規) アウトリーチ(同行支援)	・医療に結びつけるための訪問や医療との連携に必要なスキルを身につけるための同行を調整する（随時）
(エ) 情報共有の支援	医療・介護連携ツール・ICT活用	・ICTを利用するメリットが理解できるような研修の企画 ・ICT活用事例報告研修の実施（1回/年）
	連携ツール説明研修	・キビタンケアネット導入希望事業所支援（出張説明会の手配など）
	多職種での共通理解を考える	・支援に必要な情報共有のためのツール(様式)を検討していく
(オ) 相談受付	相談受付・記入	・随時相談対応→行政へ報告し課題を共有 ・相談の中から、在宅医療・介護の課題や資源を把握する →必要な社会資源を開発 ・時間外も対応できる体制の継続 ・相談援助技術の向上に努める
	相談内容、課題の集約と報告	・評価方法の充実を図る

事業項目	計 画	事業内容
(カ) 研修企画	研修会企画・開催	「医療福祉セミナーの実施」 ・認知症支援に関する知識・技術の研修（2回/年） ・終末期意思決定支援に関する研修（1回/年） ・在宅療養に必要な知識・技術の研修（4回/年）
	多団体の研修会案内協力	・案内の依頼を受けてホームページ研修案内にて周知
	（新規）多職種連携研修会	・多職種によるシンポジウムとグループワーク研修を開催
	（新規）主任介護支援専門員フォローアップ研修	・「目的」主任介護支援専門員が地域の社会資源として貢献できるよう必要なスキルを習得
(キ) 市民周知	市民向け講演会開催	・第二回市民公開講座 令和3年3月25日福島テルサ「老後ひとりぼっち」を生きる 松原惇子先生
	包括区域での研修会	・各包括圏域、各地区社協、各民生委員協議会等からの依頼による研修会の開催「在宅医療について」
	案内を各団体へ協力依頼	・医療と介護のネットワーク、行政、病院、診療所へ依頼 ・関係機関以外にも周知の協力を依頼していく
	福島市版エンディングノートの周知・活用推進	・福島市出版の福島市版エンディングノート「わたしの人生ノート」を周知、活用推進するための方法検討を行う ・出前ミニ講座等において、活用の推進を図っていく
	市民向けミニ講座	・包括を通して周知を図る。ホームページにて案内。ももりん体操実施団体への出前講座として位置づけを依頼する。 テーマ「わかりやすい在宅医療のお話」「わたしの人生ノート書き方講座」他
(ク) 関係市町村連携	近隣市町村や県内で開設している在宅医療・介護連携支援センターと情報共有や情報交換	・県北退院調整ルール会議において、県北圏域内他市町村との情報共有を行う ・県主催 在宅医療推進事業研修参加 ・県内の他在宅医療・介護連携支援センター間の情報交換会開催
その他の取り組み	小児、AYA世代のがん医療情報と支援取組	・関係機関へ相談、情報収集。県への情報提供。要望書を提出
	障がい者支援	・障害の分野においても課題の共有を図る
	医療・福祉職人材育成	・講師として依頼を受託し、医療福祉人材の育成に協力する
	学会・研修会参加	【研修会等は新型コロナウイルス感染予防のため未定】 ・6/27日本在宅医療連合学会大会はWEB開催（抄録とポスター提出）